

令和7年11月5日

日光市議会議長 齋藤文明様

日光市議会議員 村上 正明

## 議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	人口減少社会における出産と子供・子育て支援政策の問題点と課題について
会議等の主催者の名称	地方議員研究会
場所	名称等： リファレンス西新宿大京ビル 住所： 東京都新宿区西新宿7丁目21-3
期間	令和7年10月30日(木)
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の所感・成果等	<p>今回の研修について、甲南大学経済学部足立恭美教授より、人口減少社会における支援政策の問題点と課題を時代の変化と環境の変化からの視点で研修を受講した。</p> <p>人口減少の課題について、全国的な人口減少は、働きながら子育てを行う事への懸念が、時代と共に出生率の減少に繋がっているとデータを基に考えられる。</p> <p>また、平均初婚年齢と子供を持つ年齢が近年では晩婚化によって晩産化になり少産化へと変化している。家族構成も時代と共に変化していて、子育てを行いながら仕事を行</p>

うことが困難となっているが、国において1990年代1.57ショックにより出生率の低下における認識が高まり、エンゼルプランなど少子化対策が開始された。働きやすい環境を整えるため、育児休業給付などが1992年より始まり、子供・子育て応援プランへと繋がっている。

2005年以降には、少子化対策を強化するため、待機児童ゼロ作戦など子供を預ける環境の整備も進んでいる。

#### 所感

今日の少子化へ繋がっていることは、全国的な労働力不足や女性の社会進出が進む中で子育て環境の整備や労働環境の支援が十分でないことから仕事と両立が厳しい状況にあり、仕事を離れる際に失う所得が大きいことも出産できない要因となっている。また、結婚や家族に対する価値観が時代と共に変化してきており、未婚化や晩婚化へ繋がっていると考えられる。

国では、こども未来戦略「加速化プラン」など地域の環境に合わせた施策へ変更され、働きやすい環境、子育てしやすい環境整備といった一層手厚い支援に取り組んでいると思われる。これから少子高齢化が進む中で、仕事と子育てがストレスなく行える環境作りを見極め課題解決を行っていく必要があると感じた。